

ポケットCafé

姓名判断

わくわく姓名判断

～ 画数から分かる運勢と活かし方～



* ご自分の持つ運勢を知りたいそして活かしたい方

姓名判断料:1,000円 (所要時間:約15分)

※ご予約は随時お受けしております。

* 姓名判断の結果に基づき、あなたの未来を良い方向に導く印鑑もお作りしております。



印鑑彫刻例

【A様 女性】

良縁に恵まれます様に配慮しお作りいたしました。

(白オランダ水牛16800円+書体代3150円+姓名判断1000円)

【B様 男性】

新社会人、これからの活躍と成功、本人の持つ良いところを十分発揮できます様にお作りいたしました。

(黒水牛12600円+書体代3150円+姓名判断1000円)

【C様 女性】

起業のご予定有り。ご自身の健康と会社の発展を念頭にお作りいたしました。

(象牙31500円+書体代3150円+姓名判断1000円)

予約制 TEL:092-752-0888

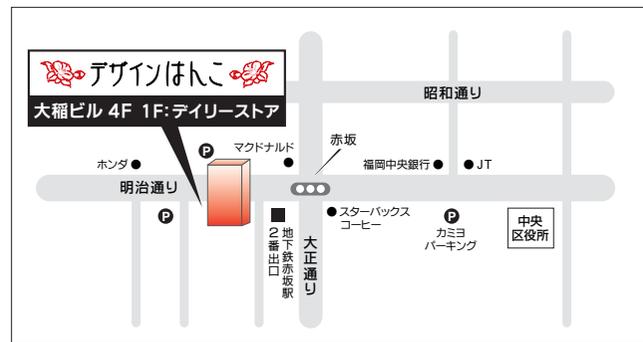
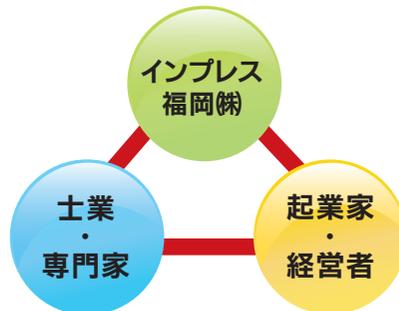
FAX・メールでも受付しております。お気軽にどうぞ。

起業カフェ

インプレス福岡 株式会社

起業カフェの開催を通して、起業したい人を支援し、起業後の事業継続のフォローアップもさせて頂いております。起業カフェでは随時起業家・経営者様のご相談を承っておりますので、お気軽にご相談下さい。

- 実績 助成金 受給
- 実績 融資 獲得
- 実績 顧問契約 成立



起業をデザインする IMPRESS

デザインはんこ

TEL:092-752-0888 FAX:092-752-0822

インプレス福岡 株式会社

福岡市中央区赤坂1丁目11-13 大稲ビル4階 〒810-0042

☒ info@design-hanko.com ☎ http://design-hanko.com

月～金/9:00～18:00 土/10:00～18:00 定休日/日曜・祝日

起業をデザインする IMPRESS

2013.5月号

ソフトなイメージが伝わる デザイン名刺



起業・経営カフェ

印鑑・ロゴマーク・ホームページ・社章・名刺・封筒・チラシ
ゴム印・スタンプ・サイン・カッティングシート

起業デザイン物語

第2回 株式会社ROOTAGE様

起業して自分も経営者となって色んな方と知り合いたい!

ロゴマーク入り会社実印

を制作致しました

ロゴマークを実印に彫刻する弊社オリジナル商品です。



自分の会社を作る!

まず初めに必要な“印鑑”にはコダワリがあった!

この度、晴れてご自身の会社を興されることになった株式会社ROOTAGEの代表取締役 山崎樹様より弊社のオリジナル商品“ロゴマーク入り会社実印”をご注文頂きました。これまでサラリーマンとして店舗やオフィスの内装デザインの仕事を続けながら、異業種の方とも積極的に関わりを作ってきた山崎様。その交流で知り合われた方のご紹介で弊社へ来社されました。

ご来社されて・・・

インプレス福岡さんへの来社は、休日の遊び仲間でもある行政書士の先生に紹介してもらったことがきっかけです。まず、テーブルに座って目に飛び込んできたのが、飲み物メニューと起業カフェのプレート。更にディスプレイの仕方などから、ただ単に物を売るだけではないのだろうと感じました。



社員と想いを共有する為にも“ロゴ実印”を。

色々説明を聞かせてもらう中で、印鑑にロゴマークを彫り込む“ロゴマーク入り会社実印”に強く興味を持ちました。

私自身がデザインや物を作ることに非常に興味を持っていますので、インプレス福岡さんのロゴ実印を見た瞬間に自分の中で、「これだ!」と思いました。

オーダーするロゴ実印のデザインは、会社設立当時の共感を将来的にも仲間とリマインドさせるために意見を出し合いながら社員皆で考え、インプレス福岡さんに相談しながら決めました。



これからの株式会社ROOTAGE

飲食店や美容室、金融業など業種によって動線や機械の配置などは全然違う。様々な業種のクライアント様と一緒に仕事をさせて頂く中で、新しい常識が生まれるのではないかと考えています。



自身の会社登記を目前に控えた最近、夜も眠れないくらいワクワクされているそうで、「早く自分も経営者となって色んな方と知り合いたい!」と出来上がったばかりのロゴ実印を片手に太陽のように輝く山崎様の笑顔が印象的でした。



株式会社 ROOTAGE

店舗・オフィスの内装デザイン、施工

〒810-0014 福岡市中央区平尾1-4-7-1F

TEL:092-406-8459

FAX:092-406-8460

印鑑・デザイン物語 その4

日本のはんこ社会の確立は、太政官布告で正式決定 (1873年)

戦国時代を経て、徳川幕府、江戸時代に泰平の世が訪れると、行政が細やかに整備され、商業が発達するにつれて、印鑑は庶民にまで普及していきました。

現代日本の「はんこ社会」の確立は、江戸時代からの慣行をもとにした出来上がりでした。

1873年(明治6年)に太政官布告で「証書には本人の自署と実印が必要である」という「署名捺印」が法的に定められ、実印のない証書は法律上、証拠にならず事実上実印を所持しなければならなくなりしました。



その後、100年以上が経った現代においても、印鑑は我々日本人にとってある意味、命の次に大事な物になっており、ITが進化し続ける現代社会においてもあらゆるシーンで印鑑が必要不可欠なものなのです。

お江戸の昔から日本では、人生の節目には必ず印鑑があるのです。



印鑑には、「押すことであなたの代わりにしますよ」という「肩代わり」や「身代わり」の意味合いがあります。そして、本人に代わって働くもの故にある種の力が生じると考えられています。その力とは、「責任」を伴う力で、すなわち、印鑑を一度押すと、その印影は押した人の代わりに「責任」という役目を背負って永遠に存在し続けることになるのです。